

いきいき人生



公益社団法人大田区シルバー人材センター

〒144-0055 大田区仲六郷1-6-9-125
TEL.03-3739-6666 FAX.03-3734-0722 E-mail.ota@sjc.ne.jp
<https://www.ota-sjc.or.jp>

会員数 3,114名
男 1,826名
女 1,288名
2020/03/31時点

女性会員が活躍しています!!

当センターの登録会員3,170人中、女性会員は1,313人で全体の41.42%です(令和2年2月末時点)。これは都内センターの女性会員の割合36.05%

と比べて5ポイント以上も高い値です。

今回は当センターの主に女性会員が活躍する職種を紹介します。

■ 保育補助業務(派遣)

保育園では区立、民間合わせて87名の会員が就業し、うち77名の女性会員が活躍しています(令和2年3月時点)。



園児の見守りやお昼寝の準備、洗濯、掃除、消毒、縫い物など様々な業務があります。体力的に大変なこともあります。子ども達のかわいい声を聞きながら、元気に就業しています。就業会員からは「子ども達の声に癒されます」「子ども達の成長が見られ、とても充実しています」「顔を覚えて名前を呼んでくれます」等の声があがっています。

■ 特別養護老人ホームシーツ交換業務

特養老人ホーム(4施設)で38名が入居者のシーツ交換の作業をしています。複数人によるローテーション就業で、各就業場所により就業日・時間は違います。2名1組で、ベッドのシーツ・枕カバー・掛ふとんカバーなど、次から次へ手際よく替えていきます。



会員同士のチームワーク、コミュニケーションが必要ですが、楽しく仕事ができる環境です。短時間の就業なので、健康な方ならどなたでもできる作業です。

■ 家事援助業務



一般家庭のお客様からのご依頼で、現在130名ほどの会員が就業しています。

部屋・水回りの掃除、食器洗い、洗濯等、普段ご自身がお家庭で行っていることをお手伝いします。お客様に寄り添い「ありがとう」の言葉を励みに、皆さん、親切・丁寧、意識を高くもって就業しています。

就業会員が集う「かこサロ」では、仕事に役立つ豆知識や、日頃気づいたことなどを楽しく語り合っています。

ここで紹介した他、女性の就業が多い業務として子育て支援サービス、小物づくりグループ、リフォーム和・洋裁などがあります。興味をお持ちの方は、センター担当者にお問い合わせください。

また、本誌最終ページには説明会、研修会の案内なども随時掲載されます。

お知らせ

6月号は委員会活動休止のため休刊します。



各委員会の活動紹介



総務委員会

総務委員会は、会員の満足度を高める課題に取り組んでいます。会員の拡大と、シルバーサロンの充実。この課題解決のため、委員会に二つの分科会を設定し、事務局と連携して討議を重ねています。

「会員の拡大」 入会の動機、経路、PR活動等、18ブロックの会員数の増減データを分析して会員増加の対策に取り組んでいます。

「シルバーサロンの充実」 サロン担当者アンケートによる問題点は、サロンの目的・意義の認識。明解な役割分担など、地域特性を生かした企画の検討が必須です。



委員長:高済博彦 **副委員長:**佐伯成正
委員:荒井登喜江・市川恒・大越保正・工藤公治・鈴木伊豆夫
鈴木昌子・須永建・船橋進・森部事務局長(敬称略)

広報委員会

広報委員会は、組織・事業の普及・宣伝として、OTAふれあいフェスタや区役所本庁舎でのパネル展示会等のPR活動を通じ、入会促進や受注拡大に繋げる取り組みを行ってきました。

また、広報紙「いきいき人生」を毎月発行し、就業や社会奉仕活動で活躍している会員の様子を紹介するほか、研修や各種行事の開催状況・安全に関するコーナーや事務局だより等を掲載、会員や地域の皆様にセンターの活動内容を分かり易く伝えられる紙面づくりを目指して活動しています。



委員長:佐々木文雄 **副委員長:**小原みつ江
委員:浮田信行(撮影時不在)・長田信男・加藤佐登美
加藤誠・鎌田芳郎・栗原弘・森部事務局長(敬称略)

会員開発委員会

会員開発委員会は、総勢8名で編成され、接遇力向上のための研修や就業促進の研修、新入会員を対象とするフォローアップ研修をはじめ、各種の研修を行っています。

一部には、外部講師を招聘した研修や、実習施設に出向いての研修もありますが、年間35回を超える研修を事務局と連携して当委員会の委員が講師として実施しています。

2020年度は、新たに未就業会員の就業促進に資する研修の実施、マンション清掃・ハウスクリーニングなどの技能研修の拡充など、就業力向上に一段と寄与できる態勢を整えてまいります。



委員長:濱野治 **副委員長:**丸山完治
委員:岩瀬純子・粕谷幸子・戸倉宣正・野崎雅伍
細谷哲二・渡辺晴夫・森部事務局長(敬称略)

適正・安全委員会

適正・安全委員会の任務は会員が笑顔で過ごせる就業環境を作ること。それを担う委員は10名で、安全パトロールによる指導助言、ヒヤリ・ハット事例の紹介、自転車安全運転や健康管理の指導、事故発生時の再発防止対策の徹底などの活動を行っています。

安全作業や健康管理は危機管理意識を養う事で、危険状態を把握し、対策を講じる事により事故防止と健康体の維持が可能です。痛ましい事故を減ずるには危険予知(KY)を身に付け、推進することだと思います。

「自らの安全は自らが守ること」を、自覚して貰えるよう努力を致しますので、会員の皆様の協力をお願い致します。



委員長:山田孝 **副委員長:**野中勝利
委員:一柳勝・川嶋一郎・木原義和・栗原早苗・小林喜美子
豊福正継・花里義人・本田哲也(撮影時不在)・森部事務局長(敬称略)

第71回定時総会を開催します

【令和2年6月23日(火) 13時30分から】

※詳細は6月上旬にお送りする招集通知をご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、委任状・議決権行使書の活用をご考慮ください。

安全コーナー 害虫対策について

暖冬と言われながらも、身が縮まる冬の窮屈な生活から解放され、春から夏へと過ごし易い日々の到来です。同時に人間生活に害をもたらす虫類が目覚まし、人々の生活を脅かす季節でもあります。蛾、蚊、蜂、そして蟻等の動きに悲鳴を上げることもあるのではないのでしょうか。

害虫には、手を触れてはいけない毒がある危険な種類があります。

ツバキ、サザンカ、チャノキなどに好んで寄生するチャドクガの幼虫は、いわゆる毛虫ですが体毛(毒針)に触れると激痛が走ります。脱皮殻やマユにも体毛がついているので、触れないように注意が必要です。

サクラ、カキ、ザクロなどの葉を集団で食害するヒロヘリアオイラガの幼虫も、チャドクガの幼虫と同様体毛に注意してください

その他にも人間に害を与える蛾の仲間としては、スギドクガ、ヒメヒロモンドクガ、マイマイガ、モンヒロドクガ等があります。名前の通り多くの種



チャドクガの幼虫



チャドクガの成虫

類の成虫、幼虫、サナギ、マユの表面に毒針があり、触ると痒みを生じてひどく腫れます。

発生時期は4月～9月です。激しく木を揺らすと毒針が空中に舞って皮膚につくことがあるので、手でこすらず、すぐに水で流してください。腫れが引かないときは、病院へ行きましょう。

害虫を駆除する際は、長袖、手袋、帽子、メガネ、マスク等で完全に防護し、枝や葉ごと切り取ってごみ袋等に入れて処分します。体毛が抜けやすいので、駆除の時は絶対に皮膚につかないように注意が必要です。

適正・安全委員会

ハツラツ! 会員の声 Vol.41

目配り・気配り・心配りを心がけて!

■ 村石 百合子さん【保育補助業務】

大田区役所の臨時職員として保育補助の仕事を経験したあと当センターに入会し、現在の区立保育園での就業は3年目になります。

朝8時から4時間、月10日ほどの就業です。笑顔であいさつ・立ち居振る舞いに気を配り、守秘義務を守ることなど心掛けています。

この仕事をして良かったと思うのは、園児たちの成長を実感できることです。卒園の時に園児からお礼の手紙をいただいて涙が止まらなかったこともあります。

余暇は、20年続けているソフトエアロで汗をながし、クラフトテープで小物やバッグを作っています。体

を動かすのが大好き。特に球技が好きで、若い頃から続けているソフトボールは、城南ソフトボール連盟の副会長を担い、選手として試合にも出ています。

就業とボランティア、趣味のスポーツなどで充実した毎日を過ごしています。



村石会員の作品



大田区からのお知らせ

令和2年4月1日から
「地域包括支援センター馬込」の移転及び、
「地域包括支援センター南馬込」
「シニアステーション馬込」
「シニアステーション南馬込」を開設しました!

また、「シニアステーション馬込」の開設に伴い
「中馬込老人いこいの家」は、令和2年3月31日をもって閉館しました。

なお、シニアステーションについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月6日(水)まで休館となっております。

最新の情報は、大田区ホームページをご確認ください。

(移転)地域包括支援センター馬込 (開設)シニアステーション馬込

所在地	中馬込1丁目19番1-101号
電話番号	03-5709-8011
FAX	03-5709-8014

(開設)地域包括支援センター南馬込 (開設)シニアステーション南馬込

所在地	南馬込三丁目13番12号
電話番号	03-6429-7651
FAX	03-6429-7652

問合せ先 大田区高齢福祉課高齢者支援担当
電話 5744-1250 FAX 5744-1522

就業相談のお知らせ

次の日程で就業相談(就業上のトラブルや悩みの相談)を予定しています。

相談日時：5月15日(金)13時30分

場所：センター本部 作業室

申込方法：会員番号・氏名・住所・電話番号・相談内容を任意の紙にご記入の上、本部に郵送又はご持参ください。

問合せ先：事務局 鈴木 TEL. 03-3739-6666

理事会報告

令和元年度 第12回理事会 3月25日

(承認された議案)

- ① 規程等の一部改正の件
- ② 令和元年度補正予算の件
- ③ 広報委員会委員選定の件
- ④ ブロック役員選定の件
- ⑤ 令和2年度 理事会が特に指定するボランティア活動の件

特集

日々の健康を維持するために

新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が出され、都知事から外出自粛要請があったことを受け、会員のみなさまも不要不急の外出を控えていることと思います。日々の健康を維持するためのポイントを掲載しますので、参考にしてください。

1 運動をしよう

「動かない」(生活が不活発な)状態が続くことにより、心身の機能が低下して「動けなくなる」ことが懸念されます。また、転倒などを予防するためにも、日頃からの運動が大切です。

- 人混みを避けて、一人や限られた人数で散歩する。
- 家の中や庭などでできる運動(ラジオ体操、自治体のオリジナル体操、スクワットなど)を行う。
- 家事(庭いじりや片付け、立位を保持した調理など)や農作業などで身体を動かす。
- 座っている時間を減らし、足踏みをするなど身体を動かす。

2 食生活・口腔ケアをしっかりと

低栄養を予防し、免疫力を低下させないために、しっかりと栄養をとることやお口の健康を保つことが大切です。

- 3食欠かさずバランスよく食べて、規則正しい生活を心がける。
- 毎食後、寝る前に歯磨きをする。
- しっかりと噛んで食べる、一人で歌の練習をする、早口言葉を言うなど、お口周りの筋肉を保つ。

3 人との交流を

孤独を防ぎ、心身の健康を保つために、人との交流や助け合いが大切です。

- 家族や友人と電話で話す。
- 家族や友人と手紙やメール、SNSなどを活用し交流する。
- 買い物や移動など困ったときに助けを呼べる相手を考えておく。

(厚生労働省HPより一部抜粋)

センターでの就業について

新型コロナウイルス感染症の影響でセンター主催の各種催しを中止しておりますが、会員のみなさまの就業につきましては、担当職員から連絡のない限りは通常就業となります。発注者からの就業休止要請があった場合等は担当職員よりご連絡いたします。

個別の就業について、ご不安がある方は、担当職員にお電話でご相談ください。